

## 薬学教育事業

団体名：東京薬科大学 Light Bulb

代表者名：白井 優希

### ① 事業内容

Light Bulbは薬学の面白さを様々な人にも知らしめる事を目的として2022年に東京薬科大学の学生により設立された団体である。実際2022年度からさまざまなイベントを通して薬に関して興味のある人々(大人、子供)がたくさんいるという事を学んだ。昨年までは主に埼玉県所沢市で活動をする機会が多かったが実際に大学のある八王子市の方々と一緒に何か活動ができなかと考えて今回参加するに至った。薬学部では、薬が体内でどのように働くか・どうやって薬が作られているのかという座学を学ぶほかに、4年生になると実務事前実習(調剤に関して学ぶ実習)を行う。そのためLight Bulbではイベントとして、くすりについての知識を話す「お薬解説」・実際に薬剤師がどのようにして調剤をしているのかを体験してもらう「調剤体験」を行っている。

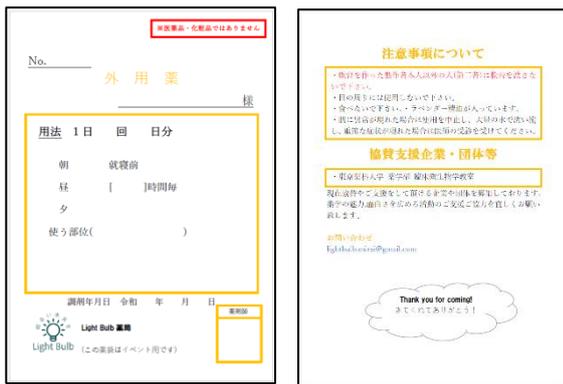


とことんフェスティバルの様子  
(2023年3月12日)  
上「お薬解説」下「軟膏調剤体験」

### ② 実施報告

Light Bulbは2025年1月30日木曜日に八王子市立由木児童館で軟膏調剤体験イベントを行った。また、2024年7月12日に行われた採択式の際に多摩大学さんにお声掛けさせていただき2024年12月19日木曜日に実施された世代間交流八王子駅前サロンに参加させていただいた。1月30日に実施した軟膏調剤体験では、セタフィル(クリーム)とワセリン(軟膏)を軟膏板と軟膏へらを用いて調剤(混合)して約壺に詰めてもらうというイベントを行った。実際に薬局に来た気持ちを味わってもらうためにLight Bulbオリジナルの薬袋と処方箋を作成して処方箋の説明から、薬袋に薬剤師の指名(軟膏調剤体験をしてもらった方のお名前)を書くところまで実際に体験してもらった。小学生の子に加え児童館の職員の方々がイベントに参加してくれた。小学生の子のもほとんどみんな処方箋の存在を知っていて実際に薬局に薬を貰いに行ったことがある子供が多かった。またみんな実際に薬剤師が軟膏を調剤する際に使用している軟膏版に興味を持ってとても楽しそうに体験してくれた。また参加して下さった方それぞれ、どうやったら上手に2種の薬剤を軟膏へらで混合することができるのかを考え調剤体験を行ってくれた。実際に軟膏調剤体験を通して薬剤師が患者さんに薬を手渡す際に何を行っているのかという事、疑義紹介とは何か、なんで薬を患者さんに届けるのに時間がかかってしまうのかという事をきちんと説明することが出来てとてもよかった。また、実際の現場の様子について興味を持って質問をして下さった方も多くいてイベントを企画して良かったと改め

て思うことが出来た。



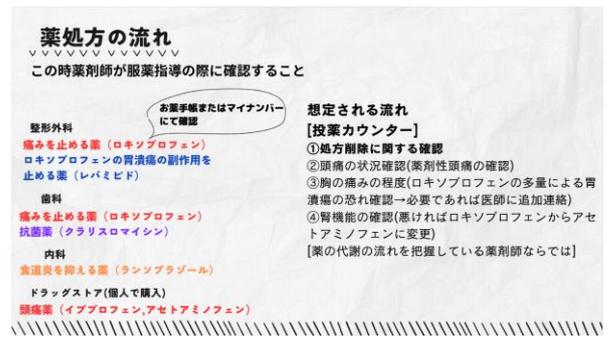
Light Bulb オリジナルの薬袋(表・裏)



軟膏調剤体験に用いた器具

12月19日に参加させていただいた世代間八王子駅前サロンでは「ポリファーマシーとは何か」・「湿布薬」とは何かという事をテーマとしてプレゼンテーションを行った。今回ポリファーマシーをテーマに選んだのは八王子駅前サロンの対象者である高齢者の方々には1日に何種類もの薬を服用しているため薬の副作用のリスクも増加するためである。湿布薬に関しては私が今期に学習した知識を活かした発表をしようと考え選んだ。

八王子駅前サロンに参加して下さった方々は私を薬のスペシャリストとして扱って下さり、じっくり真剣に話を聴いて下さった。大きく相槌をうちながら話を聴いて下さった方が多くいた。また中には事前に準備をしてお薬手帳を持参して下さり質問をしてくださる方もいた。Light Bulbの発表とても楽しみにしてくださっている方がいるという事がとても嬉しかった。



今回は上記のように具体例として患者 A さんが服用している薬を具体的に挙げて説明をしました。

### ③ 事業を実施した感想

今回2つのイベントを通して1番強く感じたのは、私達は学生ではなく薬学の専門家をして皆さんが接して下さっているという事である。大学では周りみんなが薬について学習をしているため自分の発言に対して責任を持つという考えがなかったが今回自分が薬学生である状況にたち、自分の発言にもっと責任を持たないといけないという事を強く痛感した。今後活動をしていく際は自分の発言にしっかりと責任が持てるように様々な文献を活用して資料を作ったり、より大学で詳しく学ぶことが大切であると知った。12がつのイベントでは軟膏調剤体験のみを行ったがこれからは経口投与薬の調剤に関するイベントを行ったり疑義紹介を実際に体験してもらったりとイベントの幅を広げていきたいと考える。また、今までは児童館をメインで活動してきたが子供だけでなく大人の方もメインにしたイベントを開催させたい。また、お薬解説も今問題になっていることをテーマに挙げてもっと多くの方々に興味を持ってもらえるような内容を考えて行きたいと思う。

